



知多支部 沢田 恒浩

日時 平成29年1月18日(水)12時  
場所 CBC放送センター7階 スタジオ収録  
放送日 平成29年1月25日(水)、2月1日(水)

放送局には、幾度となく見学に行きましたが、スタジオの中で収録というのは初めての経験でした。

物珍しさも手伝って壁のサイン入りポスターをきよろきよろ、設備をきよろきよろ、と田舎者丸出しで収録に臨みました。

初めての所に行くワクワク感って、とっても大好きです。この感覚は最近ではナガシマスパーランドに新しくできた絶叫マシーン、アクロバットに乗った時が一番近いのかなあと思います。



恒例の記念撮影



打合せ中

打合せの後、スタジオ入り。中には、つボイさんと小高さんがスタンバイ。

中学生のころから耳にしていたつボイさん。「ああ～舟木一夫の一宮」当時エスカスタジオの生放送でしゃべられていたフレーズでごあいさつ。

すかさず、つボイさんが、「そんな少年がまあこんなに大きくなって。」と。

小高さんは、テレビ番組のアシスタントで司会をされているのを見ていました。かわいいアナウンサーだなと思っていましたが、今はこんなに大きくなって、おきれいです。ハイ。



和やかな収録

そんな和やかな雰囲気の中、いざ、収録。  
私に与えられたお題は、土地家屋調査士、永遠のテーマとなる境界線。

テーマがテーマだけに、いただいた台本で一つのポイントだけ外さないことを念頭に話をしました。

パーソナリティのお二人は、話のプロ。私は、筆界のプロ。職種は、違えどもプロ同士の話って実に楽しかったです。ただ、喜んでしゃべりまくっている素人の私、たぶんお二人は、やりにくかったのではと。

放送時間は、5分ぐらいと聞いていましたが、収録は実に楽しく時間が早く過ぎました。竜宮城のウラシマさんですかね。

私は、法務局と愛知会で相談員をしていますが、1回60分くらい話をします。今回、場所は違えど同じシチュエーションで話をする私にとっては、60分の内容を5分にまとめ、伝えるということは難しいなと思いました。放送局の方は編集のプロですので、上手にまとめていただけるかなと、そこは私、話の素人でした。当日の放送を楽しみしています。



つボイさんと2人で記念撮影